

2016.10

Vol.115

TAKE FREE

ご自由に
お持ちください

理念

「生命を安心して預けられる病院」
「健康と生活を守る病院」

SHONAN しょうなん メール MAIL

Contents

2 - 3P 救命救急センターより

救命救急センターにおける医療講演と
救急患者さんの疾患系統別割合

4P 防災委員会より

・8階病棟 3階外来
火災訓練を実施！

5 - 6P トピックス / イベント

- ・「不審者侵入対策訓練」を開催！
- ・「シャントケアセミナー」を開催！
- ・介護の日イベント開催します

7P イベント

- ・第1回 湘南鎌倉マンモサタデー
乳がんサポートミーティング開催！
- ・世界糖尿病デーイベント開催

8P 病院案内



「不審者侵入対策訓練」の様子

救命救急センターにおける医療講演と 救急患者さんの疾患系統別割合

前回のしょうなんメールvol.110号（2016年5月）では救急搬送からの入院患者の動向について救命救急センター顧問福田充宏医師と、同センター長の大淵尚医師にコメントをいただきました。

今回は救命救急センターにおける医療講演と、2015年度救命救急センターへ来院し、入院された救急患者さんがどのような原因の疾患系統で入院されたのかについてお示します。

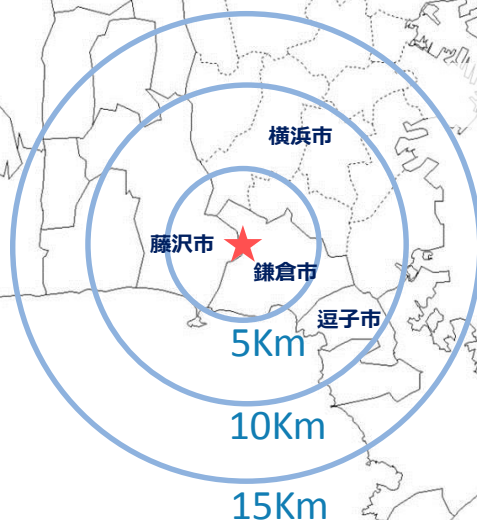
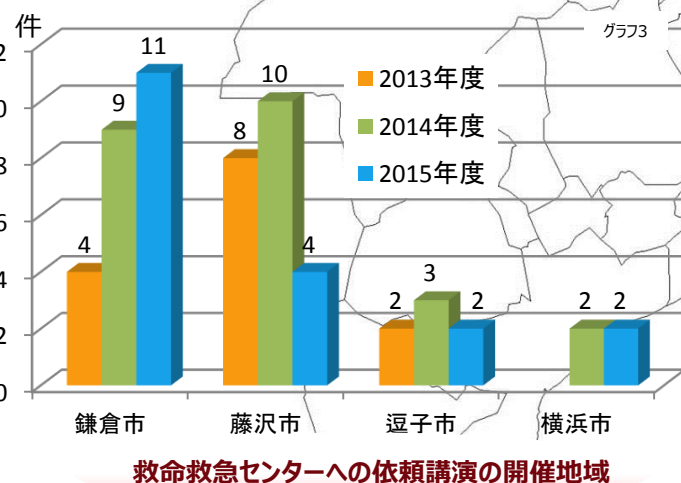
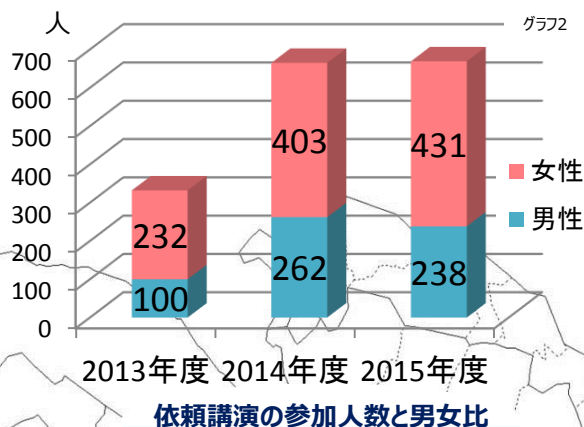
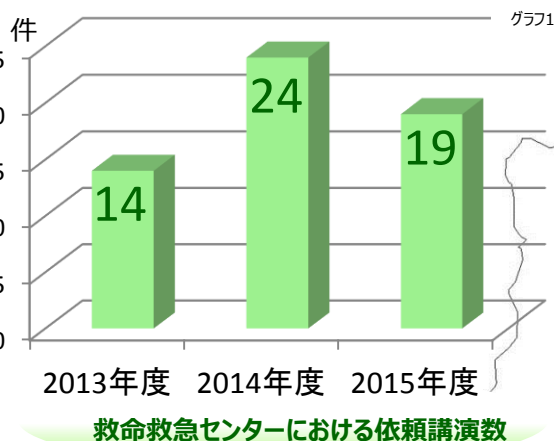
1 救命救急センターにおける医療講演について



▲心肺蘇生法・AED講習の様子

当院の救命救急センターでは地域の方向けに出張講演という形で医療講演を行っています。下記グラフ1～3・図1は過去3年間で周辺地域から依頼があった救命救急センターに対する講演件数と参加人数・男女比・開催地域を示したものです。

依頼の具体的なテーマを挙げていくと、実際に意識のない人を救命するための心肺蘇生法・AED（自動体外式除細動器）講習。小学校・中学校・高校では授業中や部活動中のケガの応急処置をはじめとする教職員への研修、生徒向けの救命救急法の大切さについての講演。また未就学のお子さんを持つ母親の団体には課外活動中の応急処置講習など多岐に亘り、出張講演を通じて一般の方に院外での救命処置の大切さや、病院を受診する前にその場で行える応急処置の重要性について理解を深めていただいております。

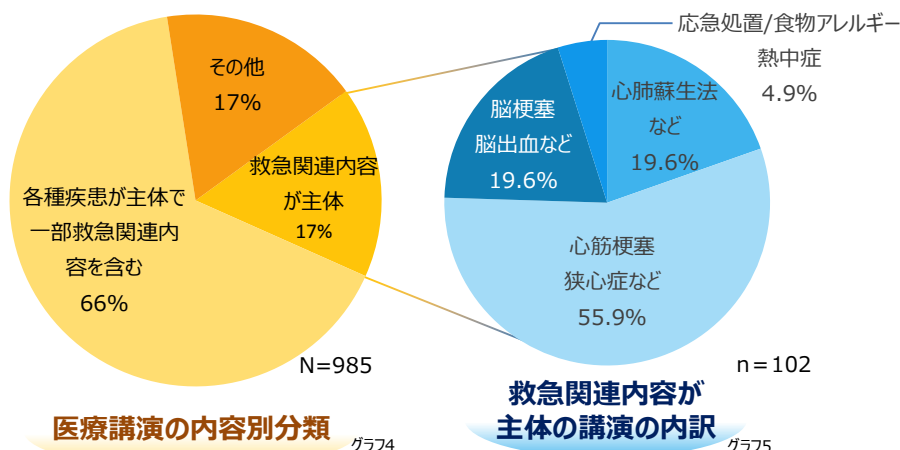


2 湘南鎌倉総合病院における医療講演について

グラフ4は、当院が2015年度におこなった地域への医療講演（公開医学講座及び依頼講演）985件の内容を3つに分類してお示ししています。1つ目は「救急関連内容が主体」の演題で心肺蘇生法や応急処置、心筋梗塞・脳卒中などの心臓疾患系や脳疾患系などが含まれます。

2つ目は「各種疾患が主体で一部救急関連の内容を含む」は動脈硬化・糖尿病などの生活習慣病を主体とする疾患が含まれています。

グラフ5はグラフ4でお示した救急関連内容が主体の内訳となっております。心筋梗塞・狭心症といった循環器系の疾患や、脳梗塞・脳出血・くも膜下出血に代表される脳卒中が全体の75%を占めております。残りの25%を救命救急センターが主に出張講演としておこなっている、心肺蘇生法やAED講習・応急処置の講習などが占めています。



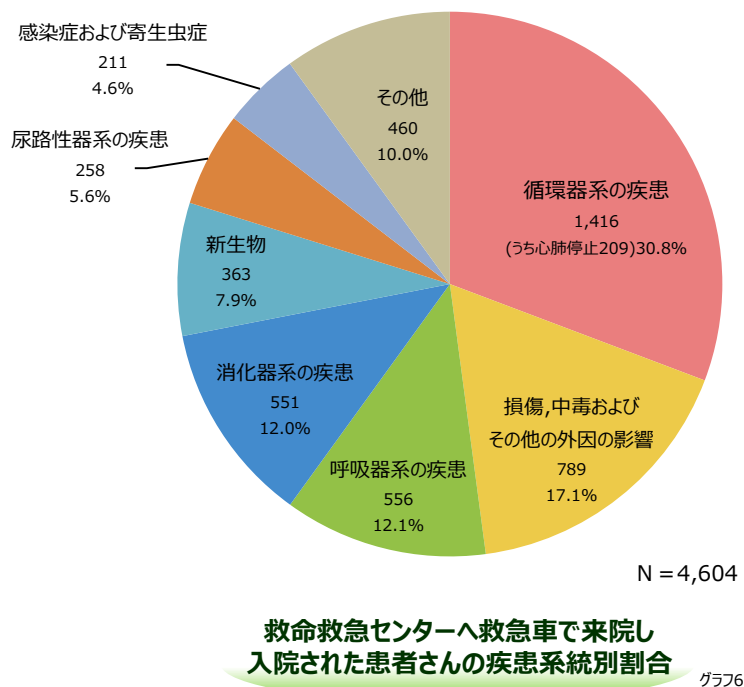
3 救急患者さんの疾患系統別割合

次に救急患者さんの疾患系統別割合についてお示します。2015年度の当院における全入院患者さん22,120人のうち、通常の予約入院の患者さんを除いた救急の入院患者さんは8,146人（全入院患者さんの37%）。うち救急車で来院され、入院となった患者さんは4,604人（救急入院患者さんの57%）であり、これらをWHOによる国際疾病分類（ICD-10）に従って、グラフ6に示しました。

心筋梗塞などの循環器系の疾患で入院された患者さんが最も多く1,416人（30.8%）を占め、そのうち心肺停止の状態で搬送された患者さんは209人（14.8%）含まれていました。続いて、外傷を代表とする損傷、中毒およびその他の外因の影響が789人（17.1%）、となっており、これらの2系統の疾患で全体の約半数近くを占めています。このように救急車を利用して来院し入院した救急患者さんは循環器系の疾患系統、外傷が多くを占めていることがわかります。また循環器系の疾患の中には心肺停止状態で来院するケースもあり、現場での心臓マッサージやAEDによる一次救命措置を実践、またはケガに対する適切な応急処置をおこなうことによって、傷病者のその後の経過に大きくかわってきます。

前述の通り、当院では救急車を利用して入院された救急患者さんの中で、頻度の高い救急疾患に対しても医療講演をおこなうよう努めています。

今後も救急患者さんを決して断らない病院として患者さんに医療を提供してだけでなく、実際の救急患者さんの疾患系統別割合をかんがみ、出張講演などを通じて地域の住民の方に正しい医学知識を身に付けてもらい、日頃から病気について興味や関心をもっていただけるよう努力してまいります。



8階病棟・3階外来

火災訓練を実施！

8月27日（土）に8階病棟と3階外来にて火災訓練を実施しました。

各階職員役と患者役の二手に別れ、それぞれ事前説明の後、職員役は各々持ち場に戻って訓練放送が流れるまで待機。患者役は車椅子や松葉杖などを用意し、指示を待ちました。

病棟は14：00・外来は14：10に訓練が始まりました。

火災感知器作動後、防災センターより火災感知器作動の連絡が放送で流れ、職員が

火元は3階の連絡通路付近

火元

発報を受け集合する職員

反応すると赤く光ります

集まり、リーダーの指示に従いそれぞれ火元を搜索。

火元の発見後は声を出し周知しながら消火栓や消化器を用いて初期消火を実施。同時にその他の職員役は防火扉を作動させ、避難誘導を開始。職員が患者役を乗せて車椅子を押したり、シーツを担架代わりにして階段を下ろすなど手順を確認しました。2ヶ所とも同じ内容ではありますが、病棟は入院患者さんや面会の方を、外来では外来エリアにいる全ての患者さんが対象となり、誘導の職員も病棟の担当看護師であったり、外来では担当がはっきりとは定められない箇所もあるなど条件が違います。そのため避難誘導の際に個室やトイレなど、慌てず細部まで注意して見回ることなど、消防署職員よりアドバイスをいただきました。

今後も有事の際には的確に行動がとれるよう、訓練を行い問題点を明確にし、一つ一つクリアして、万が一の事態に備えていきたいと考えています。

8F 8階では浴室で消火放水訓練を実施

8階の様子
火元発見・消火・避難・防火扉の閉鎖などの訓練を行いました。（写真は消火栓ホースを使った消火と、エレベータを使わずにシーツを使い避難する訓練の様子）

会場はほぼ満席状態



右から 平澤武夫さん 松本勝利さん

手を捕まれる・後ろから抱きつかれる
などを想定した護身術訓練

▼テレビ神奈川の取材中・・・



「不審者侵入対策訓練」 を開催！

テレビ神奈川で放送
神奈川新聞に掲載も

8月31日（水）に院内の講堂にて「不審者侵入対策訓練」を開催。院内の女性を中心に医師・看護師・副診療部・事務職員約120人が参加しました。

7月の神奈川県相模原市緑区千木良の障害者施設での殺傷事件を受け、当院においてもその事態を想定し、不審者侵入の際に適切な対応が図れるよう、職員を対象に訓練を開催しました。開催にあたり、神奈川県警察本部 教養課 柔道師範を務める平澤武夫さん、大船警察署 柔道助教 松本勝利さん、他3人が講師として来院。実際の体験をもとに貴重なお話をいただき、また女性職員を中心に痴漢などのわいせつ

事件の被害に遭遇した際の護身術訓練も実施しました。参加した職員からは「実際の話が聞くことができ、護身術も体験できたので参考になった」などの声も聞かれました。

「シャントケアセミナー」を開催！

9月2日（金）、当院にて「第二回湘南鎌倉シャントケアセミナー」が行われました。昨年に引き続き、同セミナーは地域の医療機関との円滑な連携を目的に開催。

当日は100名を超える参加があり、外部からは30施設にものぼりました。座長は血液浄化部日高寿美部長が務め、同セミナーを円滑に進めました。

講演1はシャントケアセンター磯貝尚子医師が『長期留置カテーテルの適応と挿入方法』。講演2は透析室村上奈央子看護師が『長期留置カテーテルの管理』。最後に講演3シャントケアセンター三宅克典医師が『アクセス管理の今後の取り組み』と続き、それぞれ熱の入った発表を繰り広げました。質疑応答も多くの施設から質問が飛び交い、今後のシャントケアに対し、たいへん有意義なセミナーになりました。

「シャント」とは慢性腎不全の患者さんが、血液透析治療を行うために、手首や肘の動脈と静脈をつないで人工的に血流を多くした血管のことです。

「シャントケア」とはシャントトラブルの多くは狭窄（狭くなる事）と閉塞（つまる事）です。狭窄には風船付きカテーテルで拡張し、閉塞には血栓を除去したりつなぎなおしたりもします。また、感染したり瘤化したシャントも修復します。さらに、修復が不可能な場合には人工血管やカテーテルの移植も行います。



日高寿美部長



村上奈央子看護師



三宅克典医師



磯貝尚子医師

会場の様子▼



院内

不

ホ

湘南鎌倉総合病院主催
地域総合医療センター介護の日
フェスティバル
開催

写真は今年のイベントの様子です



11月11日は「介護の日」です。

キャッチコピーは「いい日、いい日、毎日、あったか介護
ありがとう」で「いい日」の語呂合わせになっています。昨年11月に当院初の開催となった「介護の日イベント」を
今年も開催。昨年は医療相談などの各種相談コーナーの他に、
セラピードッグとのふれあい・介護車両や介護用品の展示・
高齢者食などの食事関係など様々なブースがあり、約200名
あまりの方にご来場いただきました。今年の開催にあたり、多くの方々より昨年に引き続きイ
ベント開催のご要望をいただきました。今年は更にたくさん
の方にお越しいただけるよう、土曜日の午前10：30より開催予
定とし、色々なブースでのイベントを検討しています。介護をされている方。介護サービスを利用されている方や
そのご家族を支援し、地域社会の中でどのように支えていく
か。介護について理解と認識を深めていただく機会になれば
と考えています。今年も色々企画しております
ので、ぜひ皆様お誘い合わせの
上ご来場ください。

開催日

2016年 **11月5日(土)**

場所 湘南鎌倉総合病院

開催時間 10：30～14：30



ご存知ですか？ 10月は「**ピンクリボン月間**」です

第1回 湘南鎌倉マンモサタデー

乳がんサポートミーティング 開催！

ピンクリボン運動とは、乳がんの正しい知識を広め、乳がんの早期発見や検診の早期受診を推進することなどを目的として行われる世界規模の啓発活動です。日本では10月が「ピンクリボン月間」、中でも1日は「ピンクリボンデー」とされており、各地のシンボルがピンク色にライトアップされます。当院もイベントを行いますので、ぜひお越しください。

ピンクリボン (Pink Ribbon)

乳がんの啓発活動を表し、世界共通のシンボルとして掲げられています。

乳がんに関心のある方
乳がん経験者の方
お待ちしております

乳がんサポートミーティング 内容

オンコロジー
センター内

- 乳がんのしこりってどんなもの？ ●乳がん検診の受け方
- 乳房再建の実際 ●のりきろう！抗がん剤治療 ●リンパ浮腫の予防と治療
- 乳がんの放射線治療 ●ピンクリボンクイズに挑戦！

別館1F
会議室2

ミニレクチャー (14:00~16:00)

- 乳がんの診断と手術治療 ●乳がんと薬物療法 ●乳房再建について
- 乳腺外科医師 永田 好香 副薬剤部長 門谷 靖裕
形成外科・美容外科・形成再生医療部長 山下 理絵
形成外科・美容外科・再生医療コンシェルジュ 看護師 尾上 綾子

日時：10月29日(土) 14:00 ~ 16:00

会場：湘南鎌倉総合病院 オンコロジーセンター/別館1F会議室2

地域

湘南鎌倉 糖尿病週間 フェスティバル開催！

日時：11月13日(日) 10:00~15:00

会場：長谷寺観音堂前

(江ノ電「長谷駅」下車 徒歩5分)

※フェスティバルへの参加は無料ですが、長谷寺への入山料が必要となります。

(長谷寺の開門時間は8:00~16:30です)

ブルーサークル(Blue Circle)

11月14日の世界糖尿病デーのシンボルとして掲げられています。

長谷寺へのアクセス▼



イベント内容

- ・管理栄養士によるお食事相談
- ・医療相談&薬剤相談&運動相談
- ・「濱田屋」の低カロリー弁当販売

※数に限りがございます

- ・血糖値測定 及び
ヘモグロビンA1c測定

世界糖尿病デーに関連し講座を行います

日時：11月4日(金)

会場：鎌倉商工会議所 地下ホール
(JR「鎌倉駅」下車 徒歩約3分)

ぜひご来場ください
お待ちしております



▲昨年のイベント風景



医療法人
沖縄徳洲会

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370-1

代表: Tel 0467-46-1717(代表) Fax: 0467-45-0190

(直通) 健康管理センター: 0467-44-1454 人工関節センター: 0467-46-7172

しょうなんメール編集・発行: 湘南鎌倉総合病院 年報広報誌委員会

ホームページアドレス: <http://www.shonankamakura.or.jp>



ご来院される方にシャトルバスの運行も行っております。詳しくは院内で配布のシャトルバス時刻表が、ホームページをご覧ください。また、「しょうなんメール」のバックナンバーもホームページでご覧いただけます。

Access Map



公共交通機関でお越しの方へ

大船駅より来院される方

●大船駅西口（大船観音側）

1番乗場 神・船31 渡内経由 「慈光寺」行
 船32 渡内経由 「藤沢駅北口」行
 神・船101 城廻中村経由 「大船駅西口」行
 船102 公会堂前経由 「城廻中村」行

2番乗場 神・船34 公園前経由 「南岡本」行

●大船駅東口交通広場ターミナル

（湘南モノレール駅下バスターミナル）

2番乗場 江・藤沢[弥]大船
 四季の杜・武田薬品前経由 「藤沢駅（北口）」行
 江・南岡本経由 「四季の杜」行

藤沢駅より来院される方

●藤沢駅北口（さいか屋・ビックカメラ側）

4番乗場 神・船32 渡内経由 「大船駅西口」行

9番乗場 江・藤沢[弥]大船 武田薬品前経由 「大船駅」行

●藤沢駅南口（小田急デパート側）

8番乗場 江・5301 アズビル前・武田薬品前経由 「湘南鎌倉総合病院」行

湘南鎌倉総合病院

検索



湘南鎌倉
総合病院
ホームページ



駐車場利用 について

湘南鎌倉総合病院駐車場

外来患者

一般・面会

料金体系

最初 2時間 200円
以降 1時間 100円

1時間 200円

※外来患者さんは診察券が無いと一般料金となります

地上

地下

営業時間

0:00~24:00

7:00~21:00

台数

28台

179台

コーナン鎌倉モール

1時間 200円 当日最大1000円 お買い上げで180分無料

関連施設

●葉山ハートセンター

神奈川県三浦郡葉山町
下山口1898-1
TEL 046-875-1717

●湘南厚木病院

神奈川県厚木市温水118-1
TEL 046-223-3636

●湘南鎌倉人工関節センター

神奈川県鎌倉市台5-4-17
TEL 0467-47-2377

●湘南葉山デイクアクリニック

神奈川県三浦郡葉山町
一色1746-2
TEL 046-876-3811

●湘南かまくらクリニック

神奈川県鎌倉市山崎1202-1
TEL 0467-43-1717

●大和青洲病院

神奈川県大和市
中央林間4-25-17
TEL 046-272-9300

●湘南鎌倉バースクリニック

神奈川県鎌倉市山崎1090-5
TEL 0467-45-4103

●介護老人保健施設 ゆめが丘

神奈川県横浜市泉区
和泉町1202
TEL 045-800-1717

●介護老人保健施設 かまくら

神奈川県鎌倉市上町屋750
TEL 0467-42-1717

●介護老人保健施設

リハビリケア湘南かまくら
神奈川県鎌倉市山崎1202-1
TEL 0467-41-1616

●介護老人保健施設

リハビリケア湘南厚木
神奈川県厚木市戸田2446-15
TEL 046-230-5111

●特別養護老人ホーム

かまくら愛の郷
神奈川県鎌倉市岡本1022-32
TEL 0467-41-1122

●特別養護老人ホーム

逗子杜の郷
神奈川県逗子市沼間1-23-1
TEL 046-870-6800